

速報 7月梅雨前線豪雨による災害状況

農地建設課災害復旧係

新潟県を襲った7月13日からの梅雨前線豪雨は、農地・農業用施設に甚大な被害を及ぼした。被害市町村数は延べ54市町村に及び、中越地方を中心に農地・農業用施設合わせて被害件数4,450件の大きな被害が発生した。（7月27日時点での集計）

これを受け、県では各地の被害の確定を急ぐと共に、国に対し災害復旧事業の早期実施、激甚災害法による特別措置の適用などの要望を行っている。

今回の災害では、作物被害は五十嵐川・刈谷田川・猿橋川の堤防の決壊による浸水により、流域市町村（三条市・栄町・中之島町・見附市・長岡市）に集中したが、農地及び農業用施設の被害は、下田村・栃尾市・三島町・出雲崎町・小千谷市などで特に多く発生している。

今後については、被害にあった施設の応急工事を急ぐとともに、膨大な数に上る災害査定の準備を進めているところである。

（災害情報は、県のホームページ上でも提供しています。<http://www.pref.niigata.jp/content/kinkyu/>）

● 被害発生市町村数 54市町村 ●



● 農地・農業用施設の被災状況 ●



開水路の崩壊（下田村棚鱗）



農地の流失（栃尾市土ヶ谷）



水田の水没状況（下田村樽山）



棚田の被災状況（栃尾市栃堀）



水田の水没状況（中之島町中条）



処理場の水没（下田村五百川）

壊滅的な打撃を受けた農地・農業用施設



農業用排水機場は昼夜を徹して排水を続けました

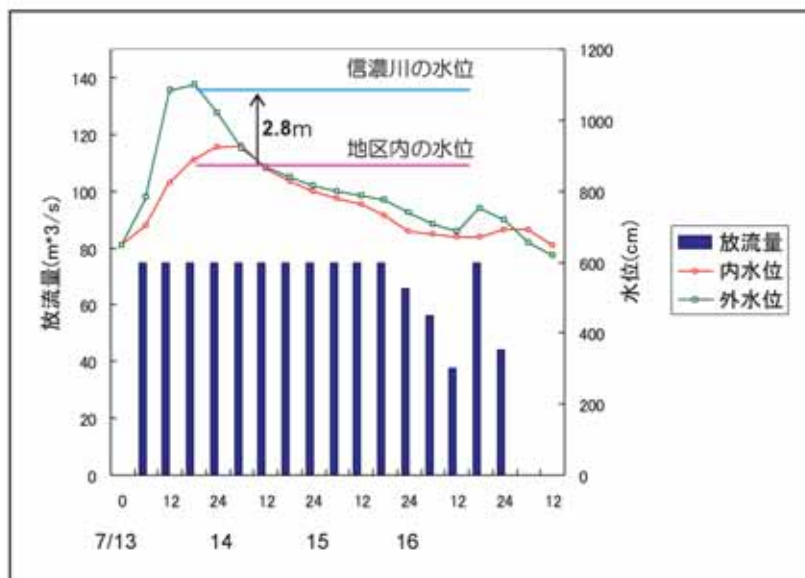
◆ 刈谷田川右岸排水機場（栄町）



平常時



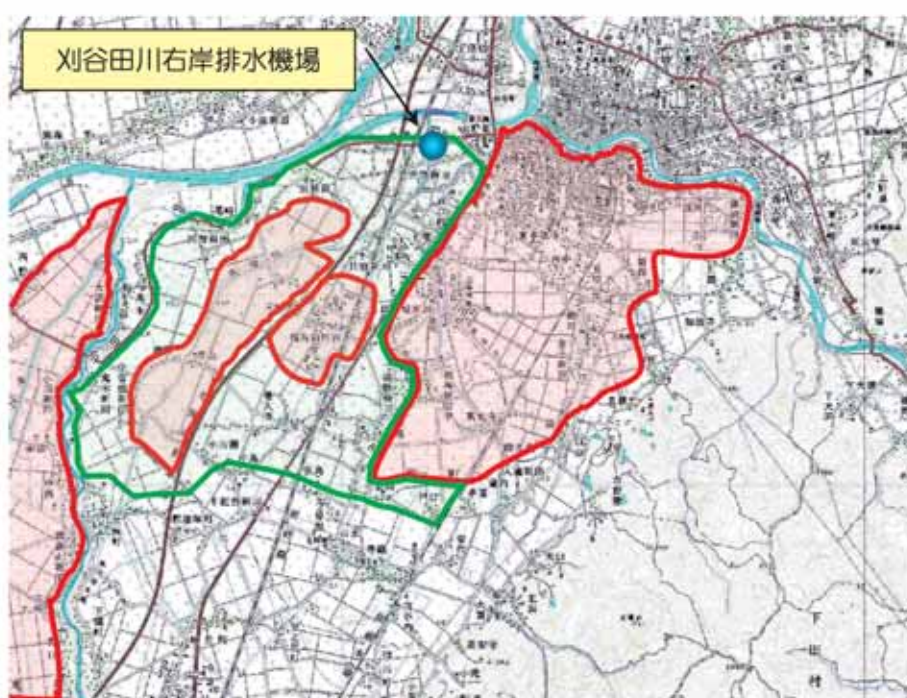
平成16年7月13日



● 7月13日～16日の排水量：2,590万m³（4日間で平年の1.8年分の水を排水）

● “ 電力量：244,000KWH（一般家庭 1,220軒の1ヶ月分に相当）

◆ もしも刈谷田川右岸排水機場が排水できなかったら？



○で囲まれた地域まで浸水区域が広がると推測されます。

平均水深1mで25.9km²の範囲となります。

これは排水機場のある栄町の全面積45.2 km²の概ね2分の1の広さです。

（千代田区の面積（11.64 km²）の約2倍）